



HyperFlex オフラインアップグレードのワークフロー

- [オフラインアップグレードに関するガイドライン \(1 ページ\)](#)
- [オフラインアップグレードプロセスのワークフロー \(2 ページ\)](#)

オフラインアップグレードに関するガイドライン



重要

- オフラインのアップグレードは、HX Connect UI から、を使用して、結合アップグレードまたは分割アップグレードので実行できます。続行する前に、次のガイドラインを考慮してください。
- Cisco は、HX Connect UI からオンラインのアップグレードを実行して、操作に影響を与えずに中断のないアップグレードエクスペリエンスを実現することを推奨しています。
- オフラインのアップグレードでは、クラスタをシャットダウンする必要があります。
- 新しいバージョンの Cisco HX Data Platform ソフトウェアを使ってノードがアップグレードされ、一度に1つずつリブートされます。
- ネストされた vCenter を使用したオフラインクラスタのアップグレードはサポートされていません。

オフラインアップグレードプロセスのワークフロー

ステップ	説明	参考資料
1.	UCSM (A バンドル) または UCS サーバファームウェア (C バンドル) のアップグレードが必要な場合、Cisco UCS インフラストラクチャ A、ブレードバンドル B、およびラックバンドル C をダウンロードします。	[ソフトウェアのダウンロード (Software Download)]
2.	必要に応じて Cisco UCS インフラストラクチャバンドルをアップグレードします。	UCS インフラストラクチャファームウェアのアップグレード
3.	vSphere Web クライアントを起動し、HX サーバ上に存在するすべてのユーザーの VM (HyperFlex Controller VM は電源オンのまま) と HX データストア上で稼働中のすべてのユーザーの VM の電源をオフにします。これには、コンピューティング専用ノード上で稼働中の VM も含まれます。VM がシャットダウンされた後、クラスタの正常性を確認し、グレースフルシャットダウンを実行します。 重要 HyperFlex コントローラ VM (stCtlVM) は、電源オンのままにしておく必要があります。	詳細については、「Cisco HX ストレージクラスタのシャットダウンと電源オフ」を参照してください。
4.	(オプション) 管理者ユーザーとしてクラスタ管理 IP に SSH で接続し、スナップショットのスケジュールを無効にします。	コマンド <code>stcli snapshot-schedule --disable</code> を実行します。

ステップ	説明	参考資料
5.	管理者ユーザーとしてHX Connectにログインし、複合化したアップグレードまたは個別のコンポーネントのアップグレードを実行します。	複合化したアップグレードについては、 HX Connect を使用したHyperFlex Data Platformソフトウェア、VMware ESXi、およびCisco UCSサーバファームウェアのアップグレードを参照してください。 個別のコンポーネントのアップグレードについては、 UCS ファームウェア、 HX Data Platform 、およびVMware vSphereの個別コンポーネントのアップグレードを参照してください。
6.	アップグレードが完了したことを確認し、アップグレード後のタスクを実行します。	アップグレード後の作業
7.	クラスタを開始します。	HXストレージクラスタメンテナンスの準備

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。